

## 第 78 回国民体育大会神奈川県予選会 開催要項

1. 名 称 : 第 78 回国民体育大会神奈川県予選会
2. 主 催 : 神奈川県アイスホッケー連盟
3. 主 管 : 競技委員会
4. 大会役員 :
 

|       |        |        |        |        |       |
|-------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 会 長   | 藤木 幸太  |        |        |        |       |
| 大会委員長 | 金子 精司  |        |        |        |       |
| 競技委員長 | 内田 貴典  |        |        |        |       |
| 大会役員  | 石山 卓男  | 伊藤 一   | 江守 永   | 鍵和田 和明 | 柏木 満  |
|       | 菊地 拓海  | 佐々木 暁  | 天明 太郎  | 中島 透   | 西村 三雄 |
|       | 長谷川 宜彦 | 畑中 和幸  | 松田 圭介  | 三浦 浩幸  | 水原 健司 |
|       | 宮本 淳平  | 吉田 見登留 | 渡邊 百合子 | 飯田 松男  |       |

  

|          |              |       |        |        |        |
|----------|--------------|-------|--------|--------|--------|
| レフェリー委員長 | 佐々木 暁        |       |        |        |        |
| レフェリー団   | 有田 典生        | 安藤 仁詩 | 石山 卓男  | 大山 訓弘  | 奥山 美紀  |
|          | 鍵和田 和明       | 鎌田 司  | 河久保 昌利 | 近藤 健一  | 佐々木 基喜 |
|          | 佐藤 仁衣奈       | 下山 浩二 | 立花 勝彦  | 戸高 英明  | 中島 透   |
|          | 中村 秀岳        | 橋本 昌伸 | 長谷川 宜彦 | 畑田 進   | 畑中 和幸  |
|          | 本田 翔馬        | 山本 秀彦 | 吉田 俊一  | 吉田 見登留 | 和田 等   |
|          | 他、日ア連公認レフェリー |       |        |        |        |

  

|                |   |
|----------------|---|
| 大会医師<br>救急指定病院 | 江守 永(県連医事委員長)、三辺 武幸(県連医事副委員長)<br>重傷の場合は 119 番すること<br>軽傷の場合:(24 時間受付・年中無休)<br>横浜市救急医療センター TEL #7119(又は 045-222-7119) |
|----------------|---|
5. 会 期 : 2022 年 10 月 2 日 ~ 12 月 24 日
6. 会 場 : KOSÉ 新横浜スケートセンター ・ 横浜銀行アイスアリーナ
7. 参 加 資 格 : 神奈川県アイスホッケー連盟(以下 KIHf と呼ぶ)【一般】に 2022 年度登録をしているチーム及び選手と役員。同種に登録されたチームはすべて参加しなければならない。
 

|     |   |
|-----|---|
| 注 1 | 大会参加チームの選手・役員は「日ア連 Face-Off システム」により、2022 年 9 月 13 日までに県連宛到達したものを有効とし、大会出場を認める。 |
| 注 2 | 大会参加費未納及び監督会議欠席チームは本大会については失格とする。失格となったチームは第 70 回神奈川県アイスホッケー選手権に参加資格を有しない。      |
| 注 3 | 県内【一般】登録チームに所属する選手について、本大会に出場した選手は第 70 回神奈川選手権終了まで、県内チーム間の移籍は原則認めない。            |
| 注 4 | 審議委員会に於いて出場停止等処分を受けたチームに所属した者は、たとえ他チームに移籍をしても当該処分が終了するまでは、同処分が継承される。            |
| 注 5 | 大会参加申し込み以降、棄権、失格、出場停止、試合放棄などで予定された試合を行えない場合のリンク利用権は、勝利チームが有する。                  |
| 注 6 | 不参加の連絡は「info」の後に「@kihf.net」まで mail 連絡すること。                                      |
8. 国体代表選手選抜方法 :
 

この大会に出場できても国体の参加資格にあてはまらない選手は、県代表チームに選抜されない。

国体選手選考委員会を設置し、本大会及びトライアウトの結果により県代表選手を決定する。

9. 参加チーム：  
 【A pool】 チームハセガワ B、Mavericks、ケッターズ、JINXS、  
 富士通 RED BULLETS、神奈川メープルリーフ A、NEC-A、ハマクラブ A、  
 【B pool】 EAGLES、箱根クラブ、荒鷲クラブ、サンダーバード、Sony Blitz、  
 イワトビペンギンズ、アイスバンディッツ、チームハセガワ A、  
 ゼロックス・アイスホッケークラブ、常盤台ユベントス、  
 YOKOHAMA BAY BLUES、BERKS、B.B.KINGS、スーパー・ケッターズ、  
 上條会 Mao's、横浜 JETS、横浜ダイヤモンドズ、NEC-B、横浜ガルズ、  
 ENEOS、YOKOHAMA BAY JAZZ、ロックホッパーペンギンズ、  
 神奈川メープルリーフ B、Big Buzz、ハマクラブ B、Sony Lightning、  
 サザンレッドウイングス、慶應スパイラル、日産自動車ピストンズ、  
 TUS オリオンズ、  
 県連審議委員会による出場停止処分：無し  
 休部：チームハセガワ Z、リンクス
10. 大会形式  
 【A pool】 第 76 回国体県予選会の結果により、A pool 8 チームを 2 組に分け、4 チーム  
 のリーグ戦を行う。それぞれの組の 1 位同士で優勝決定戦を行う。A pool 各  
 組の最下位チームは次回国体予選会の B pool へ降格する。最下位チーム以  
 外は次回大会の A pool に残留する。  
 各組の分け方は第 76 回大会の結果により、A group: 1・4・5・8 位と B group:  
 2・3・6・7 位とする。  
 【B pool】 A pool 以外のチームにより、トーナメント形式にて B pool 優勝、準優勝を決定  
 する。B pool 優勝、準優勝チームは次回国体予選会の A pool へ昇格する。  
 組み合わせによりシードチームが生じる場合は第 69 回神奈川県アイスホッケー  
 一選手権の結果により当てはめる。  
 第 1 試合で敗退したチームは、敗退したチーム同士で 1 試合の敗者交流戦を  
 行う。但し、シードチームが敗退した場合の交流試合については行わない。
11. 参加費：  
 A pool ¥119,900  
 B pool ¥79,900  
 上記参加費を下記口座へ 9 月 13 日までに振り込むこと。なお、期日までに  
 入金確認の取れないチームは出場を認めないこととし、県連審議委員会によ  
 り処分を科する。  
 振込先 横浜銀行 本店営業部 普通口座 6097936  
 神奈川県アイスホッケー連盟 会計 長谷川 宜彦
12. 競技規則：神奈川県アイスホッケー選手権の定めるローカル・ルールを除いては原則とし  
 て IIHF 公式規則で行う。  
 補助規則（ローカル・ルール）：  
 a. 連盟未登録選手が出場した場合は、その試合に限り没収試合とし、そのチ  
 ムは不戦敗(スコアは 0 対 1)とする。  
 この場合、審議委員会により罰則を科す。  
 b. 出場資格があるにも拘らずオールメンバー表に記載されていない選手が出場  
 した場合、関係した得点は無効とする。ペナルティは課さない。当該選手は残  
 り時間出場できない。  
 c. ベンチには、ゴールテンダー 2 名・スケーター 20 名の計 22 名、役員 6 名迄入  
 ることができる。  
 d. IIHF ルール第 21 条に基づき、試合開始整列時に 1 名のゴールテンダーと 5  
 名のスケーター、役員 1 名を最低人数とし、これに満たないチームは試合放棄  
 とみなし不戦敗(スコアは 0-1)とする。  
 また試合中にけがやペナルティなどで、正規の人数(3 名のスケーター)をリン  
 ク上にそろえることができなくなったチームはその時点で試合放棄とする。  
 e. ユニホームを着用しない役員名を当該試合のメンバー表に記載し、試合開始  
 から終了までの間、常時ベンチ入りさせること。  
 f. A pool ベンチは試合日程表の左側チームが本部席より見て左側とし、ホーム  
 チームとする。

B pool ベンチは試合日程表の左側チームが本部席より見て左側とし、仮ホームチームとしパックスによりホームを決定する。なお、試合日程表は第 69 回県選手権の結果による上位チームを左側として記載する。

- g. 1974 年 12 月 31 日より後に生まれた選手はフェイスケージまたはバイザーかフルバイザーを着用し、マウスガードを使用しなければならない。バイザーは、目及び鼻が全て覆われるものでなければならない。(IIHF ルール第 31 条)  
該当選手は、「V」の表示をプログラムに明記する。  
バイザーは無色透明なものとし、それ以外は使用出来ない。  
マウスガードは氷上に落ちたとき目立つカラーリングを施したものを使用すること。
- h. 大会開始日に 18 歳以下のすべてのプレーヤーは、パックもスティックのブレードも貫通できないように作られたフェイスケージ及び首とのどのプロテクターを着用しなくてはならない。(IIHF ルール第 31・35 条)  
該当選手は、「F」の表示をプログラムに明記する。
- i. 危険な用具を着用している選手は試合に出場できない。
- j. 選手は背中に加え、両袖にも番号(概ね高さ 10cm)がついたジャージを着用しなければならない。(IIHF ルール第 40 条)
- K. 血液感染予防のため、各チーム予備のユニホームを用意する事が望まれる。
- l. ユニホームの色が同系色で、ペナルティのコールを誤る可能性があるとしてレフェリーが判断した場合、レフェリーの指示に従い、本部席より見て右側のチームがベストを着用する。
- m. 3 回目のペナルティを犯した選手はその試合の残り時間をゲームアウトとする。(ゲームシートには「OTHER」と記載し、20 分のペナルティを加算する)  
ペナルティのカウントは、以下のとおりとする。
  - ①INTRF、HOOK、TRIP、SLASH などの単独のマイナー(2 分)は、それぞれカウント 1。
  - ②HI-ST(2+2 分)、キーパーチャージ CHARG(2+2 分)、ROUGH(2+2 分)などのダブルマイナーは、カウント 2。
  - ③CHE-B、CHE-H などのマイナー+自動的な MISC(2+10 分)は、カウント 1。  
(MISC の 10 分は自動的に付加されるものだから)
  - ④ABUSE、UN-SP などの MISC(10 分)は、カウント 1。
  - ⑤ベンチマイナーはカウントしない。(PB に入る履行者は本人のペナルティではないため)
- n. ヘルメットは、ヘルメットの下端と眉毛との間に指 1 本分以上のゆとりがないように着用しなければならない。また、あごひもとあごの間のゆとりも、指 1 本分のみとする。(IIHF ルール第 34 条)
- o. 氷上にいるキャプテン、2 名以内のキャプテン代行のみが、ルール解釈に関する問題について、レフェリーと話をする事ができる。  
キャプテンまたはキャプテン代行が氷上にいない場合、いずれもレフェリーからの要請がない限り、レフェリーと討議するためにベンチから氷上に出ることはできない。(IIHF ルール第 28 条)

### 13. 競技時間 :

- a. 練習 5 分、各ピリオド正味 15 分、インターバル 3 分で行う。ただし、貸し切り時間内に試合終了しない事が予想される場合は、SV の判断により第 3 ピリオドの試合時間をロス込みにする場合がある。第 3 ピリオド終了時同点の場合は、PSS(サドンデス方式)にて勝敗を決定する。  
なお、A pool リーグ戦・B pool 敗者交流戦で第 3 ピリオド終了時同点の場合は引き分けとする。
- b. タイムアウトは A pool :優勝決定戦のみ有り、その他はなしとする。
- c. オールメンバー表は試合開始 20 分前までにオフィシャルへ提出すること。
- d. 成年の部 A pool 優勝決定戦  
練習 5 分、各ピリオド正味 15 分、1-2 ピリオド間インターバル 5 分、2-3 ピリオド間氷上整備とする。

14. A pool 順位 :  
a. 勝ち点制とし、勝ち点の多いチームから順位づける。(勝ち点は勝ちチーム 3 点、引き分けには各 1 点を与える。)  
b. 勝ち点在同一の場合、勝利数の多いチームを上位とする。  
c. 勝ち点と勝利数が同一の場合は、対戦結果の勝ちチームを上位とする。  
d. 対戦結果で順位がつかない場合は、総ペナルティータイムの少ないチームを上位とする。  
e. 総ペナルティータイムが同一の場合は、総得失点差、総得点の順とする。
15. 第 57 回全日本アイスホッケー選手権大会(B)関東ブロック予選会(仮称)参加資格:  
A pool 優勝チームには 2023 年に開催される第 57 回全日本アイスホッケー選手権大会(B)関東ブロック予選会(仮称)の参加資格を付与する。
16. オフィシャル : オフィシャル当番チームは、オフィシャルスコアキーピングとルールに精通した者でその任に当たり、責任持って終了させる。オフィシャル当番はスケート靴持参(4 名以上)で試合開始 20 分前に集合し、準備を開始すること。オフィシャル当番が遅刻・欠席・人数不足等によりその任務を履行できなかったと大会役員により判断された場合、審議委員会において罰則を科す。罰則の範囲は不履行により再試合となった場合、その費用負担から無期限の出場停止までとする。  
また、試合終了後 10 分以内にゲームシートを完成させること。
17. レフェリー : 全ての試合についてレフェリーは 3 人制で行うことを原則とし、3 名全てレフェリー委員会から派遣する。
18. スーパーバイザー :  
a. ゲームを円滑に運営することを目的として、各ゲームに 1 名のスーパーバイザーを置く。  
b. スーパーバイザーは、ゲームの運営に関し、会場関係者・レフェリー・オフィシャルと協調あるいは指示を出しその任に当たる。  
c. スーパーバイザーは、大会役員から派遣する。
19. 試合中の傷害 : 試合中に傷害を負った選手は所定の用紙を持ってスーパーバイザーに届け出ること。  
傷害に関するデータは医事委員会に報告され、用具やルール改善の基本資料として活用される。  
試合中に傷害を負った選手に対しては、所属チームが責任を持って対処すること。  
また、チームはスポーツ安全保険もしくは同等の補償の保険に加入しなければならない。加入していない選手・役員は大会出場できない。
20. 懲戒委員会 : 委員長 中島 透  
委員 内田 貴典、伊藤 一、柏木満、佐々木 暁
21. 登録・出場資格に関する問い合わせ先 :  
伊藤 一 <アドレス:「info」の後ろに「@kihf.net」をつける>
22. その他 : 要綱に記載されていない不測の事態が発生した場合は、競技委員会にて別途協議をする。

以上